

～『JET STREAM』放送開始 50 周年記念企画第一弾～

機長・大沢たかおも感動！

ヴァイオリニスト・古澤巖 & ベルリン・フィルハーモニー・ヴィルトオージ

『ミスター・ロンリー』新バージョンが 4 月から放送！

4 月 3 日(月)～『JET STREAM』(月-金 24:00-24:55 放送)

TOKYO FM をはじめとする JFN38 局で放送中の『JET STREAM』(月-金 24 時～24 時 55 分)では、2017 年 7 月 3 日(月)に番組放送開始 50 周年を迎えることを記念して、番組テーマソング『ミスター・ロンリー』の新バージョンを、4 月 3 日(月)から放送します。この番組テーマソング『ミスター・ロンリー』の新バージョンは、ヴァイオリニストの古澤巖とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のヴィルトオージ(弦楽 5 重奏)のメンバーにより今回新たにレコーディングされたものです。また、4 月 3 日(月)からの番組テーマソング『ミスター・ロンリー』新バージョン放送を皮切りに、TOKYO FM では FM 番組史上最長となる『JET STREAM』放送開始 50 年イヤーを、スペシャルコンテンツとともに盛り上げていきます。どうぞご期待ください。

◆番組放送開始50周年の幕開けは、古澤巖とベルリン・フィルによる『ミスター・ロンリー』で！

『JET STREAM』(月-金 24 時～24 時 55 分 TOKYO FM および JFN 系列全国 38 局ネット)では、2017 年 7 月 3 日(月)に FM 番組史上最長となる番組放送開始 50 周年を迎えることを記念して、番組テーマソング『ミスター・ロンリー』の新バージョンを、4 月 3 日(月)から放送します。

この番組テーマソング『ミスター・ロンリー』の新バージョンは、ヴァイオリニストの古澤巖とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のヴィルトオージ(弦楽 5 重奏)のメンバーにより今回新たにレコーディングされたもので、アカデミックなアレンジが印象的な作品となっています。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団からは Laurentius Dinca (1st Violin)、Mathias Donderer (Cello)、Ignacy Miecznikowski (Viola)、Stanislaw Pajak (Double Bass)、Stephan Schulze (2nd Violin) が参加しました。世界中の有名なオーケストラ等と共演経験がある古澤巖は、今回のレコーディングを振り返り「ベルリンフィルの弦楽 5 重奏と共にソロを弾く。至福の時。」と語りました。



◆機長・大沢たかおも感動！「可憐で清らかな新ミスター・ロンリー…心が震えます。」

4 月 3 日から放送される『ミスター・ロンリー』新バージョンのレコーディングには、現在『JET STREAM』のパーソナリティ＝機長をつとめる大沢たかおも参加しました。

古澤巖とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団によるレコーディングの様面に立ち会った大沢たかおは、「可憐で清らかな新ミスター・ロンリーとの共演。心が震えます。」と感想を述べました。

また、4 月 3 日(月)からの番組テーマソング『ミスター・ロンリー』新バージョン放送を皮切りに、TOKYO FM では『JET STREAM』放送開始 50 年イヤーを、スペシャルコンテンツとともに盛り上げていきます。どうぞご期待ください。



レギュラー番組『JET STREAM』概要

【放送日時】 毎週月曜日～金曜日 24:00～24:55

【放送エリア】 TOKYO FMをはじめとする JFN38 局ネット

【パーソナリティ】 大沢たかお

【内容】 TOKYO FM (1970年4月26日開局)の前身「FM東海」時代の1967年7月3日から放送を開始したFM界の長寿番組。良質な音楽と、旅をめぐる新たなイメージを喚起させる世界を提供し、深夜にラジオを楽しむ、想像力に富んだ多くの大人のリスナーを楽しませている。

【番組 WEB サイト】 <http://www.tfm.co.jp/jetstream/>



参考資料

■『JET STREAM』の歴史

TOKYO FM(1970年4月26日開局)の前身で、東海大学が行っていた実用化試験放送局「FM東海」時代の1967年から放送している長寿番組。旅と音楽を柱とした深夜のリラクゼーション・プログラムをコンセプトに、番組提供社のJALとともにラジオ界の歴史を創ってきた。パーソナリティは初代が城達也(故人)。1967年7月3日から1994年12月30日まで担当、出演回数は7387回をかぞえる。2代目は小野田英一で、1995年1月2日から2000年3月31日まで担当した。2000年4月3日(月)からは、30年ぶりに番組内容の全面改訂を実施、新番組名は「ラブサウンズ・オン・ジェットストリーム」。リスナーに旅の感動と楽しさを提供する新しいエンタテインメント・プログラムとして新たなスタートを切った。パーソナリティは森田真奈美。そして2002年10月1日、原点回帰のコンセプトに立ち返り、「言葉」と「声」で旅のドラマを表現する音像番組として再スタート。伊武雅刀が機長をつとめる。2004年11月25日(木)、通算放送回数1万回目を迎えた。2009年4月からは機長に大沢たかおが着任。2010年9月には『JET STREAM』の世界観をそのままに、情感あふれるナレーションとオーケストラの生演奏が融合するプレミアムコンサート「JET STREAMコンサート」の第1回が開催。以降、ほぼ毎年開催されている。

■『JET STREAM』番組テーマソングの変遷

初代・城達也時代

オープニング 「ミスター・ロンリー」(フランク・プウルセル・グランド・オーケストラ)

Midnight Odyssey 「peace(go slowly)」(モーガン・フィッツチャー)

エンディング 「ジェット・ストリーム(ロワールの星)」(カラベリ・グランド・オーケストラ)

「夜間飛行」(レイモン・ルフェブル・グランド・オーケストラ)※「夜間飛行」は、シヨップマニフィカの5枚組CD「My Dear(マイ・ディア) イージーリスニング・コレクション」に収録されている。

「夢幻飛行」(アンドレ・パウアー&ジェットストリーム・オーケストラ)

「THE ALLUVIAL PLAINS」(COLIN CHIN)

Midnight Odyssey 「ROBINSON CRUSOE」(アート・オブ・ノイズ)

小野田英一時代

オープニング 「ジェットストリーム～アイ・ウィッシュ」(中村由利子)

「Here, there And Everywhere」(The Beatles)

エンディング 「トワイライト・ウィンズ」(中村由利子)

「ジェットストリーム～アイ・ウィッシュ」(中村由利子)

森田真奈美時代

オープニング & エンディング 「ミスター・ロンリー」

※ボサノヴァアレンジ

伊武雅刀/大沢たかお時代

オープニング 「ミスター・ロンリー(オープニングバージョン)」(溝口肇)

エンディング 「ミスター・ロンリー(エンディングバージョン)」(溝口肇)